

看護のプロフェッショナルリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第20回 ワークショップの開催報告

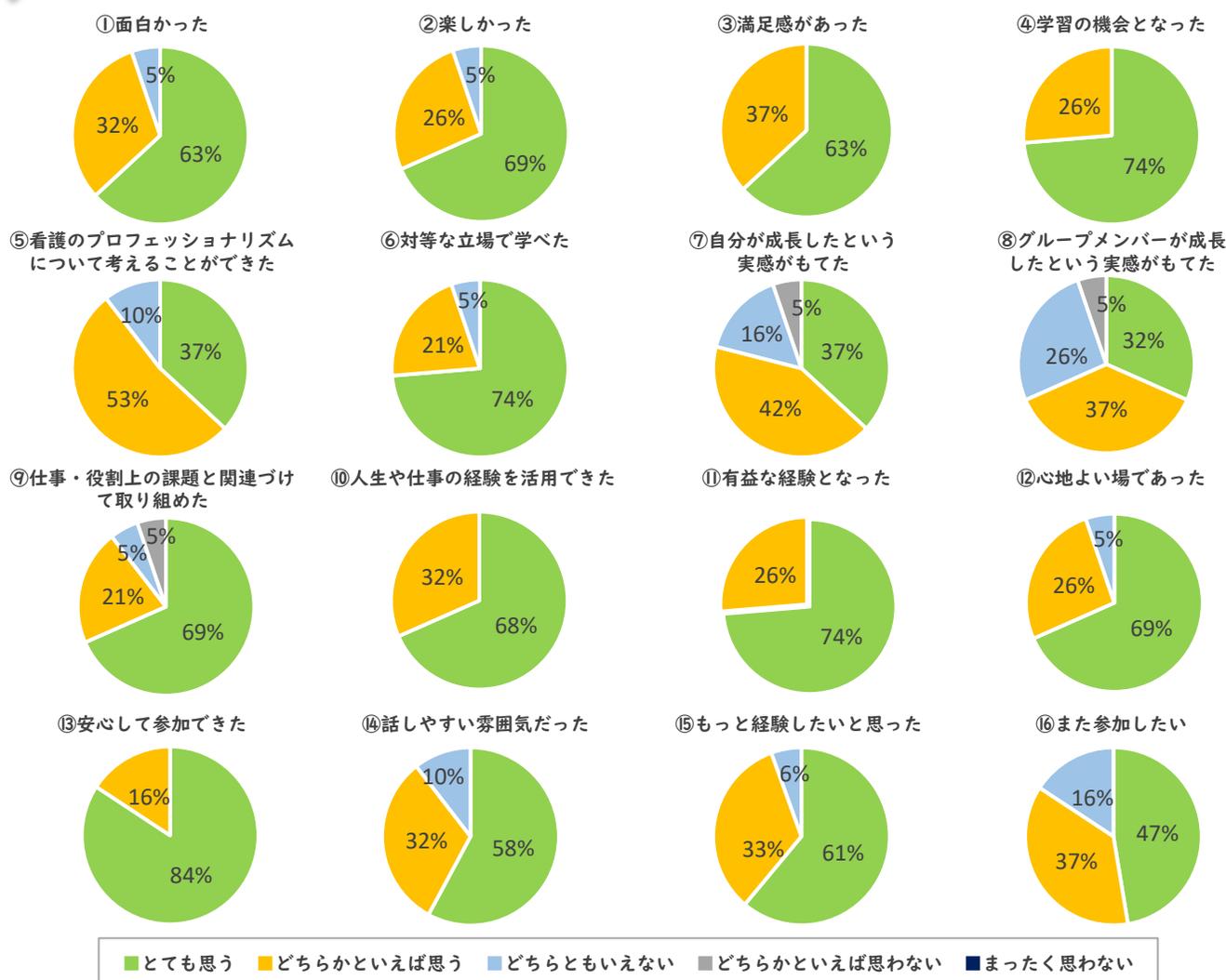
「仲間とともに看護の未来を語ろう『人(仲間)が育つこと・自分が育つこと』』というテーマで、恒例の実習指導者講習会フォローアップワークショップとの合同開催(オンライン)を実施しました。約7割の方が「安心して参加できた」「有益な経験となった」、そして全員が「看護のプロフェッショナルリズムについて考えることができた」と回答してくださいました。充実した時間をみなさんと共有させていただけたことに感謝です。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2024年2月16日（金）13:00-16:00

参加者：29名（看護職、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答19名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ・ 実習指導をされている方の課題や思いを聞くことが有益でした。各人の歴史が意外にも面白かったです
- ・ 様々な看護経験やその成長の話を開け大変ためになった。皆様の看護経験とその選択した道についての考えは、人材育成やキャリアを支援するための参考になった。とても良い研修でした
- ・ 安心感のある空気感で自分自身の率直な思いを知ることができました。また皆さんのこだわりや考えに触れ、人それぞれの考え方がありと再認識することができました
- ・ 実習指導者講習会の修了者の方から、新人看護師の様子や学生指導の悩みといった現場の生の声を聞くことができました。その中で、近年は1つの職場に長く務めるという意識があまりない人が増えていることや、自分のキャリアビジョンを持って入職する人も多いという話があり、益々PIFを支える組織作りの必要性を感じました